

1. 園の教育目標

明るく、正しく、元気の良い光の子どもになりましょう。

- ・**ほくは、わたしは、愛されている**
子ども達一人ひとりが、神様と周りの大人たちに愛されている安心感の中で、毎日明るくほがらかに過ごしてほしいと願っています。
- ・**心も体もたくましく**
春夏秋冬の外遊びを通して自然やお友達と関わり、心も体もたくましい子に育てほしいと願っています。
- ・**優しい気持ち、正しい心**
キリスト教保育を通して、お友達や小さな命に対する優しい気持ちや善悪の判断がつく子どもに育てほしいと願っています。
- ・**豊かな感性、のびやかな想像力**
毎日の絵本や紙芝居の読み聞かせ、お絵かきや粘土遊びなどを通して豊かでのびやかな心を育てほしいと願っています。

2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画

- ・スムーズな幼保連携型認定こども園への移行
- ・教職員の働き方
- ・教育課程の整備
- ・保護者との連携

3. 評価項目の達成および取り組み状況

評価項目	取り組み状況
園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育目標を基に編成している。	新幼稚園教育要領を踏まえ、年間を通した保育の見通しを全職員が持ち、保護者へも毎月周知するようにしている。
幼児の発達に即して幼児期にふさわしい生活を展開できるように具体的に指導計画を作成している。	各担任は、月の計画、週の計画、日々の具体的な計画のもとに保育をしている。また、日々の保育日誌は計画を立てる上で幼児の個々の発達の状況がよくわかる重要なベースとなっている。
安全で清潔感のある環境構成をしている	コロナウイルス感染防止の対策として、ご家庭へ検温・健康観察の報告をお願いし、外部の方が園舎内に入るときには、検温、手洗い、消毒をお願いした。園児、職員へ不織布マスクの着用をお願いしている。また、二つの玄関にセンサーライト、外部から侵入できないように職員室から操作できる自動ドア、二つの玄関、駐車場付近の防犯カメラ設置など、安全対策も強化している。しかし、登園後、外遊び後の施錠忘れがあった。
幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、その子の良さを認めるよう心掛けている。	保育前、保育後にお祈りと打ち合わせを行い、全職員が園児全員の様子を把握し、確認をする時間を設けている。詳しい内容は保育日誌に記録され、全職員が閲覧できるようにしている。また、特別支援教育では、特別支援コーディネーターを配置し、担任、保護者、他機関との連携を行った。
保護者に対し、幼児や自分の保育のことを分かりやすく話、保護者との信頼関係を築くよう努めている。	懇談会、送り迎えの時間にお子さんの様子を伝えるよう努めている。また、ホームページの保護者のみログインできるコーナーで行事などの写真をアップした。園長も、保護者の皆様にお会いしたときは、積極的に声をかけ、担任と保護者の懸け橋になるよう努めた。ただ、昨年度に引き続き、今年は茶話会の中止、行事の参観の制限が設けられ、例年よりも直接にお話しする時間が減ってしまった。その中でも、保護者の皆様にご協力とご理解をいただき、感謝している。
地域社会とのかかわりを持つよう努める。	例年ならバザー、花の日礼拝や収穫感謝礼拝でのご近所訪問、大友敬愛園訪問等、様々な場面で地域の方々との交流を持っているのだが、昨年度にひきつづき、今年度はどれも中止となった。
保育者としての専門性を高めるための各研修会に積極的に参加する。	積極的に研修に参加し、日々の保育に生かしてきた。学んだことを共有化できるよう、園内研修にも取り組んだ。また、今年度は『発達の扉(上)』(白石正久著)を全所員で読み合い、0歳児から5歳児までの発達について学んだ。また、特別支援教育の学びとして、聖公会北海道教区幼稚園保育園の先生方とZoomによる学習会を定期的に行い、心を尽くして子どもたちの保育に当たれるよう、準備した。今年度の他の外部研修も対面ではなく、ZOOM等で参加した。
人事管理、財務管理を適正に行う。	公認会計士により、適正に運営されていると認められている。

4. 学校関係者評価委員会の総合的な評価結果

結果	理由
A	<p>・2年にわたるコロナ禍の中で、幼児の保育を行うことはたいへんな努力があったものと思います。幸い、これまでクラスターの発生をみることなく、一時的な休園に留まっているようなので安堵しています。しかしオミクロン株はエアロゾル感染が主流なので、クラスターも覚悟しておいた方がよいように思います。「感染対策の徹底」といっても、建物の構造上、むりがあります(換気、ドアの取っ手など)。幼児にマスクせよと言っても、鼻出しやアゴマスクになるのは、身体発達上も仕方がありません。換気して深呼吸の時間を設けるのも良いかも知れません。しかし最大の対策は、教職員各自が、感染しないように日常的に自己防衛することです。春が早く来ることをお祈りするだけです。</p> <p>・昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、日常の保育活動、そして行事に進めることには、大変なご苦労があったことと思います。次年度には、乳児さんを迎え、さらに異年齢が自然に交流できるような環境構成に取り組まれることと思います。お子様の笑顔があふれる保育活動を展開されていくことを期待しています。</p> <p>・本当にこの困難な一年、園長先生はもちろん、関わる教職員すべてが気の抜けない中での保育であったことと思います。心からお疲れ様と。新年度からの認定こども園スタート、大きく変わろうとしていますどうぞ健康で力を尽くされますように。</p>

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全対策の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・外部からの侵入による施設については、新園舎となり、施錠が自動となり今までより安全な環境となるが、その中で過ごす職員の意識を今後も徹底させていきたいと考える。 ・アレルギー対策に関しては、栄養士を中心に徹底した対策が取られているが、全職員が対策方法を共有するように努めたい。 ・バスの運行に関しては、マニュアルを作成し、どの職員が添乗しても同じような行動がとれるようにしていきたい。
職員の和を大切にす。	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保連携型認定こども園の移行に伴い、職員が増え、幼児部、乳児部、預かり保育部に保育形態も分かれているが、皆が聖ミカエル幼稚園の職員として、大切にされるものを共有し、職員同士が互いを理解して行けるような工夫をしていきたい。
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育、年長児の進学先等、地域との連携は欠かせない。コロナ禍の中ではあるが、こちらから積極的にアプローチすることを通して、地域との連携を強化していきたい。

自己評価項目一覧 —園長編— 2021年度 聖ミカエル幼稚園 園長 渡部 良子

<評価基準> A おおむね良い B ふうふう C 改善を要する

評価分類		内容	評価	内容
I 教育内容	1 保育の 計画	① 建学の精神に基づき教育理念や教育目標を明文化している	A	キリスト教会の付属幼稚園としての立場、園独自の教育目標を、父母の会総会資料、パンフレットやホームページで明記している。
		② 教育課程は教育理念に基づき、教育要領の精神を踏まえて編成している	A	教育理念、教育要領に即し教育過程を編成している。また、月々の保育計画を保護者にも手紙で知らせるようにしている。
		③ 社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育課程の見直しを行なっている	A	毎年、職員の話し合いの下に教育課程の見直しを行っている。
		④ 幼児の生活が豊かになるように行事を精選し、幼児の発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行なっている	A	幼児の成長のためには、多様な経験のできる行事を大切にしていきたい。今年度は、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、保護者には様々な制限をお願いしたが、子どもたちのためにできるだけ形を変えないように工夫した。
	2 教職員 体制の 充実	① 教職員が園の教育理念や教育方針を共通理解するための取組みを行なっている	A	毎月の職員会議、各学期はじめの職員会議で共通理解を図っている。特に今年度は、「発達の扉（上）」を、職員会議で読み合い、意見を言い合う取り組みをした。今後も、お互いの違いを理解しながら、助け合える職場を維持していきたい。
		② 指導計画が教育要領、教育課程、幼児の実態に即したものになっているかを把握し、指導助言できる体制をつくっている	A	毎日の保育日誌では、担任の様々な工夫や、失敗や悩みが記され、主任が毎日助言を返している。この取り組みにより、若手・中堅が育ってきている。
		③ 教師が上級免許や他の資格を取得したり、教員免許の更新をしたりする機会を確保している	A	職員に資格に関する情報を的確に伝え、時間を確保できよう職務をカバーできる体制を組んでいる。「幼稚園ナビ」に登録し、情報取得や、研修申し込みがスムーズになった。
	3 指導の 在り方	① 環境を通して行う幼稚園教育の特質を理解し、発達の道筋を見通して教育的価値のある環境を計画的に構成している	A	職員で話し合っ、子どもたちの成長に合った保育ができていた。来年度はにゅじの受け入れも始まるので、長いスパンで発達を見通した保育を取り入れていきたい。
		② 幼児の主体性と教師の意図とのバランスを考慮しながら、幼児が主体的に活動できる環境を構成している	A	室内遊びでは、保育室をままごとコーナー、積み木コーナーなどに分け、子ども達が興味を持った遊びができるよう工夫している。また、その中でも教師がカリキュラムに沿って、その時経験させたい遊びを意図的に盛り込むようにしている。
		③ 幼児とのかかわりのなかで信頼関係を構築するよう努める。安心して過ごすことができる環境を整えている	A	担任だけではなく、どの職員も子ども達に声かけをし、愛情をもって接している。コロナ禍の中でも子どもたちは朗らかに安心して過ごせていた。来年度は職員がかなり増えるが、ミカエルの子の良い雰囲気大切にしていきたい。
		④ 幼児一人ひとりの発達の特性に応じた指導を行なっている	A	年齢に応じてだけではなく、子どもの発達に応じて細やかに課題を設定し、支援を行っている。また、特別支援教育を必要とするお子さんには、安心して幼稚園の生活が送れるよう、合理的配慮を行っている。

			⑤ 教職員全員で一人ひとりの幼児を育てるという視点に立って、教職員間の共通理解と協力体制を築き、指導を行なっている	B	職員会議や、日々の会話の中で、共通理解が図られるよう心がけている。また、毎日の保育後の日誌は、預かり保育やバス乗車で会議に出られない職員にも周知徹底できるよう努めている。ただ、勤務時間の違いから、正規職員、パート職員全員が集まって保育について話し合う機会がなかなか持てないのが現状である。今年度は、ZOOMも取り入れた鍵形式となったが、やはり直接言葉を交わし合う機会がもっと欲しい。	
			⑥ 遊びを通しての総合的な指導を行なっている	A	子ども達が遊びや絵本を通して工夫する力、創造力、理解力、コミュニケーション力を身につけられるよう指導している。	
			⑦ 障がいのある幼児に対して、家庭や関係機関と連携しながらその状態に応じた指導内容や指導方法の工夫をしている	A	聖ミカエル幼稚園では、特別支援教育コーディネーターを置き、関係機関との連絡を綿密にとりながら、保育にあたっている。また、保護者とは、コーディネーターと担任が毎学期面談を持ち、次学期・次年度の保育について相談をしている。特別支援教育は一部のお子さんのものではなく、全てのお子さんに還元されるものである。その視点に立って、より良い園の運営体制を整えていきたいと考えている。	
			⑧ 子どもの発達と学びの連続性を確保するため、幼稚園と小学校との連携を図っている	B	東区の幼保小連絡協議会に積極的に参加し、教師同士の交流や、小学校の授業の参観などを行う姿勢を持っている。ただし今年度もコロナウイルス感染防止の観点から、そのような会議が中止となってしまった。しかし、2月には各小学校の先生をお招きし、進学する園児との交流を行う予定である。	
	4	研修や研究	① 教育内容の質の向上や改善のため、園内研修を企画し行なっている	A	今年度も特別支援教育、キリスト教保育等、様々な研修を行った。来年度も研修の機会を多く持つようにしていきたい。	
			② 教師の資質向上のために、公的機関などが開催する研修会などに参加する機会を確保している	A	担任だけでなく、補助教員にもできるだけ研修会等に参加し、学び、それを日々の保育に生かすよう指導している。しかし外部研修はほとんどが中止となっていたため、ZOOM等で行われる研修には参加するように働きかけ、学びを深めていた。	
			③ 個々の教師が自分の課題を把握し、その課題が達成できるような指導体制をとっている	A	保育をより充実させるために、日案作成・保育日誌をもとに、教員同士の話し合いを持っている。	
	II 地域の幼児教育センターとしての役割	1	子育ての支援	① 子育ての支援のために、未就園児の親子登園や子育て相談、情報の提供などを実施している	A	未就園児クラスいちご組には、2歳コース20組、3歳コース20組の親子が通っている。子育て経験のある教師が担当しており、子どもの成長のためにお母さん方へもアドバイスをを行っている。
				② さまざまな教育に関する相談を受け入れている	A	ホームページ、未就園児クラスなどで体制は整えている。また、特別支援教育コーディネーターによる定期的な相談機関がある。機会があれば地域へ働きかけをしていきたい。
				③ 子育ての支援に当たって、児童相談所や病院などの専門機関に相談や連携ができる体制を整えている	A	特別支援教育コーディネーターによる専門機関との連携体制が整っている。
		2	預かり保育	① 教育課程に基づく活動を考慮したうえで預かり保育の内容を検討し、計画的に行なっている	A	季節ごとの計画を立てて、毎日実施されている。キリスト教保育を意識しながら、室内遊び、外遊びの中で子どもたちの発達に応じた活動がなされている。

			② 預かり保育を担当する教師の体制を整えている	A	夕方6時45分までの勤務の職員を2名配置している。また、朝の預かり保育も、7時から出勤する職員を配置している。	
Ⅲ 安全管理	1	外部侵入者などに対する安全対策	① 幼稚園施設整備指針に基づき、適切な防犯体制を整えている	B	北玄関と北玄関から2階保育室に入るドアは通常施錠されている。また、正面玄関・北玄関、駐車場には防犯カメラが設置されている。正面玄関も自動ドアで、職員室内で操作し、施錠すると外からはドアを開けられないようになっている。しかし、職員室での施錠忘れが何度かあった。気を付けて行きたい。	
			2	施設・設備・園児に対する安全対策	① 地震などの自然災害に対する防災対策を整えている	A
	② 幼稚園設置基準を踏まえ、施設設備の安全管理に努めている	A			安全に関する施設の点検を定期的に行っている。	
	③ 消防法を踏まえ、消防計画を作成し実施している	A			消防に関する連絡体制、各担当の動きを決めて、避難訓練のたびに確認している。	
	④ 防火管理者を定めて防火管理を行っている	A			防火管理者の資格保持者を置いている。	
	⑤ 設備や遊具の点検を定期的に行っている	A			必要に応じて、点検専門業者を入れて点検を行うようにしている。	
	3	衛生管理	① 幼稚園設置基準を踏まえ、衛生管理に努めている	A	設置基準を踏まえ、職員が衛生管理に努めるほか、毎日清掃員による丁寧な清掃がなされている。	
			② 学校保健法を踏まえ、保健安全計画を作成し実施している	A	年間を通した計画を立て、実施している。	
			③ 学校保健法を踏まえ、園児及び教職員の健康診断を実施している	A	園児の健康診断は5月に、職員は8月・1月に実施した。	
			④ 学校保健法を踏まえ、伝染病予防や発生に対応している	A	各保育室の加湿、保育室、トイレ、階段の手すりなどの消毒に努めている。札幌市から出されるインターネット情報、メール情報は気をつけて見るようにしている。また、その時々伝染病等に合わせて、必要に応じて家庭向けに「保健便り」を発行している。	
			⑤ 学校保健法により、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置いている	A	全て置いている。	
	Ⅳ 人事管理	1	園の教育目標達成のための人事	① 幼稚園設置基準を踏まえ、園の教育目標が達成できる人事を行っている	A	設置基準を踏まえた人事を行っている。
				② 幼稚園設置基準を踏まえ、個々の教職員が自己評価などに努めている	A	全ての教職員において実施している。
		2	教職員の雇用条件	① 労働基準法に基づいた労働条件を整備し、明示している	A	法人の就業規則に基づいて運営されている。
				② 私立学校教職員共済法を踏まえ、教職員の福利厚生に努めている	A	全ての職員の福利厚生に努めている。
3		就業規則に基づく労務管理	① 労働基準法に基づいて就業規則を作成し、行政官庁に届け出ている	A	法人で作成している。	
4		教職員の健康管理	① 学校保健法に基づき、毎年、教職員の健康診断を実施している	A	8月・1月に実施した。	
Ⅴ 財務管理		1	予算作成及び予算管理	① 学校法人会計基準に基づき、予算書を作成している	A	作成している。
				② 月次で予算管理を行い、補正予算が必要な場合は理事会の承認を得ている	A	適正に行っている。

	2	決算	① 学校法人会計基準に基づき、会計処理を行うとともに財務計算に関する書類を作成している	A	適正に行っている。
			② 決算は公認会計士の監査を受け、適正であることの証明をつけて監督官庁に届け出ている	A	適正に行っている。
	3	納付金算定	① 園児納付金の算定に関しては、算定根拠をしっかりともち、外部に説明できるようにしている	A	適正に行っている。
	4	物品購入	① 教材などの在庫は種類・量共に、適切に管理している	A	教職員で計画的に管理している。
VI 評価と情報 の公開	1	評価	① 重点目標とそれを達成するために必要な評価項目を定めて自己評価を行っている	A	園長、教職員でそれぞれ行った。
			② 自己評価の結果や分析、それを踏まえた今後の改善方を自己評価の結果報告書にまとめている	A	園長、教職員でそれぞれ行った。
			③ 学校関係者評価委員会を設置し、自己評価の結果について学校関係者評価を行っている	A	適正に行っている。
	2	情報の公開	① 幼稚園設置基準により、教育活動その他の学校運営の状況について、積極的に情報を提供している	A	園便り、クラス便り、ホームページで積極的に情報を提供している。また、紙媒体で間に合わない情報については、緊急メールを活用している。
			② 公開する情報の中で、個人情報とされるものについては保護されるようにしている	A	園児の顔と名前が一致しないようにするとともに、写真等の公開には各保護者へ同意をとっている。
			③ 自己評価の結果を公表している	A	毎年、ホームページ上に公開している。
			④ 学校関係者評価の結果を公表している	A	毎年、ホームページ上に公開している。
			⑤ 幼稚園幼児指導要録の抄本・写しを小学校に送付し、情報の共有と相互理解を図っている	A	進学する園児分は各小学校へ、転園園児分は転園先へ送付し、情報を共有するよう努めている。

全体を通して

今年度も、コロナ対策に追われた一年であった。しかし中でも、教職員が協力し、子どもたちの成長のためにできるだけ行事をなくさずに活動した。運動会、お買い物ごっこ、生活発表会、降誕劇を通して、子どもたちは大きく成長し、その成長した姿に職員が皆で涙を流して感動する一年となった。また、保護者の学習の場である「カンガルーの会」、絵本サークル、ゴスペルサークルと言った父母の会の活動も、感染に気を付けて、ZOOMやYouTube等を利用しながらなんとか継続することができた。

来年度は園舎が新しくなり、乳児部もできることから、様々な困難も予想されるが、園長と職員と保護者が一体となって、たくさん愛情と、願いをもって子どもたちを育てていきたいと考えている。

自己評価項目一覧 —教員編— 2021年度 聖ミカエル幼稚園

氏名()

A	おおむね良い
B	ふつう
C	あまりできていない。検討を要する

回答者 20名

評価分類		内容	A	B	C	
I 保育の 計画性	1	園の教育理念・教育目標の理解	① キリスト教保育を基盤とした園の教育理念や教育目標を理解し共感している	19	1	
			② 園の教育理念に基づいて教育目標について園長や主任・教職員と話し合い、保護者に説明できる	18	2	
	2	幼稚園教育要領の理解	① 幼稚園教育要領を読み、園長や主任・教職員と話し合っ理解に努めている	13	7	
	3	教育課程の編成	① 園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育目標を基に編成している	14	6	
			② 園の教育課程を理解し、それに基づいて保育の計画を立てている	17	3	
	4	指導計画の作成	① 指導計画は幼児の発達に即して幼児期にふさわしい生活を展開できるように具体的に作成している	17	3	
			② 指導計画は幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるような順応性のあるものになっている	18	2	
	5	環境の構成	① 安全で清潔感のある環境構成をしている	16	4	
			② 幼児が主体的に豊かにかかわることができる環境構成をしている	17	3	
			③ 遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量に配慮して用意している	18	2	
			④ 園地・園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、環境構成に生かすようにしている	13	7	
			⑤ 異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている	20	0	
6	評価・反省	① 自分の保育についての評価・反省をいくつかの観点から行っている	17	3		
		② 自分の保育を評価・反省することで、次の保育に生かせるようにしている	18	2		
II 保育の在り方、幼児への対応	1	健康と安全への配慮	① 朝の登園時には特に視診を大切にし、子どもの体調が悪くないかを確認している	17	3	
			② けがや事故に気をつけ、万一、事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に見てもらするなど適切な処置を行っている	18	2	
			③ 園内に危険な箇所がないか、危険な遊び方をしていないか常に配慮し、危険が予測される場合は安全な遊び方について幼児と一緒に考えるようにしている	18	2	
			④ 園内の清掃や整理整頓、換気、採光、室温などに気を配っている	17	3	
	2	幼児理解	① 一人ひとりの幼児をよく観察すると同時に周囲にも目を配るようにしている	16	4	
			② 幼児の話をよく聞き、幼児の思いを受けとめるようにしている	19	1	
			③ 個々の幼児の発達の姿や課題について、見通しをもって理解できるようにしている	18	2	
			④ 幼児同士のかかわりの姿を捉え、そこでの幼児の育ちを理解できるようにしている	18	2	
			⑤ 幼児たちが今、興味や関心をもっていることを知るようにしている	18	2	
			⑥ 幼児の理解のために家庭との連携をとるようにしている	14	6	

Ⅲ 保育者としての資質	3	指導とかかわり	⑦ 幼児の姿を多面的に捉えるように心がけている	19	2	
			① 幼児の思いや考えに共感しながら、幼児と一緒に活動するようにしている	18	2	
			② 幼児が理解しやすいような、正しい言葉を使うようにしている	18	2	
			③ 幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている	19	1	
			④ キリスト教保育を行う中で、善悪の判断、思いやりの心を培ううえでのモデルとなるように心がけている	17	3	
			⑤ 幼児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、その子のよさを認めるように心がけている	19	1	
			⑥ 幼児の話をよく聞いたり、スキンシップをとるようにしている	17	3	
			⑦ 幼児が遊びを深めていくための、適切な援助をするように心がけている	18	2	
			⑧ 幼児の年齢に応じた援助の仕方を工夫している	17	3	
			⑨ 幼児が自ら考えたり工夫したりできるように見守り、行き詰まっているときには適切な援助をしている	17	3	
			⑩ 幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をするように心がけている	16	4	
	⑪ 幼児を無視したり、体罰を加えたりすることはどのような場合もしないようにしている	19	1			
	4	保育者の協力・連携	① クラスに関係なく、その場にいた保育者に適切な言葉がけや対応をするように心がけている	16	3	1
			② クラスの環境構成などについて保護者に理解してもらえよう努めている	12	8	
			③ 幼児のことについて保育者同士で話し合う場を設け、共通理解をするように心がけている	19		1
			④ 保護者に対し、幼児や自分の保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努めている	16	4	
			⑤ 保護者が他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うような、さまざまな工夫、保育の形態を取り入れている	15	5	
	1	専門家としての能力・姿勢・義務	① 保育時間外でも保育者としての誇りと自覚をもった言動を心がけている	14	6	
			② 幼稚園には自分自身のプライベートな生活をもち込まないようにしている	17	3	
			③ 幼児や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにしている	18	2	
			④ 服装、髪形、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている	15	5	
⑤ 職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守るように心がけている			19	1		
⑥ 園の重要書類は持ち出さないようにしている			19	1		
⑦ 締切りのある仕事や提出物は締切日をきちんと守るようにしている			18	2		
2		組織の一員としての在り方	① 教職員全員で一つのチームであることを自覚するように心がけている	17	3	
			② 他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるよう努めている	15	5	
			③ 子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や他の教諭に報告、連絡、相談をしている	19		1
			④ 当番や役割による仕事は確実にこなしている	14	6	
			⑤ 園や保育者に関することについては、軽はずみに他に話さないように心がけている	19	1	
3		保育の楽しみ・喜び	① 幼児の成長を自分の喜びと感ずることができる	18	2	
			② 幼児と一緒に生活を創りだすことを楽しいと感じることができる	19	1	

IV 保護者への対応	1	情報の発信と受信	① 保護者に個々の幼児の様子を伝える工夫をしている	12	8		
			② 保護者からの相談や要望には心を開いて、よく話を聞くように心がけている	17	3		
	2	守秘義務の遵守	① 保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針に従っている	19	1		
			② 個々の幼児や保護者、家族の情報は口外しないようにしている	20			
	3	対応上のマナー・心がまえ	① 日常生活において、その場にあった正しい言葉を使うようにしている	18	2		
			② 電話は、相手が見えないために誤解が生じやすいことを心に留め、簡潔にわかりやすく話すことを心がけている	16	4		
			③ 保護者からの依頼や伝言などについては、メモをするなどきちんと対応している	19	1		
	4	クレームへの対処の仕方	① 保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に報告、連絡、相談をしている	18	2		
			② クレームの内容によっては教職員全体で検討し、共通理解のうえで対処している	18	2		
	V 地域の自然や社会とのかかわり	1	地域の自然・人々とのかかわり	① 地域の人々と親しくあいさつや会話を交わすように心がけている	12	2	
				② 地域の自然や主な施設の場所、交通機関、行事などについて理解するよう努めている	10	9	1
				③ 地域の自然や機関について、利用しやすい工夫をしている	11	8	1
2		小学校との連携	① 小学校の教育内容について理解するよう努めている	10	10		
			② 地域の小学校の行事や公開授業に関心を持っている	10	8	2	
3		子育ての支援と地域への開放	① 子育ての支援や地域開放について具体的な形や内容を理解するよう努めている	13	7		
	② 子育ての支援や地域開放について、教職員全体で話し合っている		10	8	2		
VI 研修と研究	1	研修・研究への意欲・態度	① 研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している	12	8		
			② 自分の保育について自己課題をもって評価・反省を行っている	12	8		
			③ 自分の保育の在り方や悩みについて、他の保育者や主任、園長に相談している	12	8		
	2	保育者としての専門性に関する研修・研究	① 幼児の発達理論を学び、保育にいかすための研修・研究を行なっている	13	7		
			② 記録の取り方、考察の仕方に関する研修・研究を行なっている	8	12		
			③ 教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修・研究を行なっている	8	12		
			④ 保育記録に基づいた評価方法と計画に関する研修・研究を行なっている	8	12		
			⑤ 幼児の発達を見通した環境構成や教材に関する研修・研究を行なっている	8	12		
			⑥ 保護者への対応に関する研修・研究を行なっている	14	6		
			⑦ 地域社会との交流に関する研修・研究を行なっている	6	12	2	
			⑧ 保育者同士の協力・連携に関する研修・研究を行なっている	12	8		
	3	今日的課題に関する研修・研究	① アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について理解している	15	5		
			② 障がいのある幼児の理解と対応について研修している	15	5		
			③ 預かり保育や子育ての支援について研修している	7	13		
			④ 幼小連携の必要性や具体的方策について研修している	9	11		
⑤ 危機管理の必要性と対応について研修している			9	11			

まとめ

今年度も昨年度に続き、コロナの感染状況を見ながらの保育となりました。どの教員も、子どもたちのために何ができるかを、いつも模索する一年となりました。そんな中でも、日常のクラス運営、行事を通して、子どもたちが生き生きと喜んで活動し、その結果、一人一人の成長を見届けることができました。皆で、ミカエルの職員であることの喜びをかみしめた一年となりました。

地域との連携、小学校との接続等、まだまだ課題はあります。また、来年度は新園舎での保育となります。気持ちも新たに、職員一同、子どもたちのために心を尽くして保育を行っていきたいと願っております。

尚、職種によって回答できない項目については「B」となっておりますので、ご了承ください。

保育目標 明るく、正しく元気のよい光の子どもになりましょう

4つの柱

- ① ぼくは、私は、愛されている（自己肯定感）
- ② 心も体もたくましく（体を動かす遊び、心身の健康）
- ③ 優しい気持ち、正しい心（お友達・先生方とのかかわり、キリスト教保育を通して育む心）
- ④ 豊かな感性、のびやかな想像力（絵本の読み聞かせ、工作、絵画製作、劇ごっこ、クッキングなどの保育）

この目標、4つの柱をもとに、いずれかに○をお付けください。

I	園の運営姿勢・教職員の指導姿勢について	だいたいそ う思う	パーセン テージ	よくわから ない	パーセン テージ	改善のアイ デアがある	パーセン テージ
1	保育目標を意識した活動が多くみられる。	78	98%	2	3%	0	0%
2	保育目標が反映され、教職員が協力して園の運営にあたっている。	79	99%	1	1%	0	0%
3	保護者とともに、子どもたちを育てていこうとする姿勢が見られる。	77	96%	3	4%	0	0%
4	子どもの健康・安全管理に努めている。	78	98%	1	1%	1	1%
5	園長や教職員は、保護者からの色々な相談に快く応じている。	79	99%	1	1%	0	0%
6	園長や教職員は、あいさつや礼儀を大切にしている。	79	99%	1	1%	0	0%
7	保育環境は整えられている。	77	96%	3	4%	0	0%



- ・玄関の施錠が徹底されておらず、預かりでお迎えに行った時に鍵が開いているということがよくありました。部外者が無断で園に入ることがあり、何か起きることがあるのではないかと心配しています。
- ・帰りの園バスで引率の先生が寝ていたことがありました。
- ・参観日などの時に園に入ったら手洗いをする様にとの指示がありますが、アルコール消毒が良いのではないのでしょうか。



大変申し訳ありません。玄関の施錠も、気を付けてはいるのですが、幼稚園の降園後、また、預かり保育の外遊び後の施錠もれがあるのだと思います。また、バスの添乗の居眠りも、大きな問題です。具体的な解決策を話し合い、職員皆に徹底してまいります。大人の手の消毒に関しては、札幌市の指導の下、手洗いをお願いしています。それでもご不安な方は、アルコールをご持参ください。

2		保育目標に 合っている	パーセン テージ	よくわから ない	パーセン テージ	改善のアイ デアがある	パーセン テージ
1	朝・毎週の礼拝	76	95%	4	5%	0	0%
2	外遊び・スキップ等のリズム遊び	78	98%	2	3%	0	0%
3	絵本の読み聞かせ	80	100%	0	0%	0	0%
4	工作・絵画製作	75	94%	3	4%	2	3%
5	幼稚園、野幌の畑での野菜作り	76	95%	4	5%	0	0%
6	クッキングなどの食育活動	79	99%	1	1%	0	0%
7	ハッピーチルドレン	75	94%	5	6%	0	0%
8	縦割り保育	78	98%	1	1%	1	1%
9	横割り保育	79	99%	1	1%	0	0%

↓

↓

- ・お預かりの短い時間の中に工夫をしてくれているようでありがたいです。
- ・お預かりでは定期的に製作をしてくれています。
- ・工作や製作の頻度が少ないのでは？と感じています。自主的に作った折り紙や工作は大量に持って帰ってきますが。



お絵かき、工作、歌、リズム等、様々な活動は日常活動や行事の中で、学年の発達に合わせ、計画的に行われています。コロナによる休園、2時までの短い時間の中の様々な活動の中ですので、限りがあることをご了承ください。

Ⅲ 年間の行事は保育目標・保育の柱を受けて行われているか。		保育目標・ 柱に合っ ている	パーセン テージ	よくわか らない	パーセン テージ	改善のアイ デアがある	パーセン テージ
1	入園式（年少さんのみ回答）	32		48		0	
2	親子遠足	52		25		3	
3	ミニミニ運動会	78		2		0	
4	お泊り会（年長さんのみ回答）	32		48		0	
5	生活発表会	79		0		1	
6	クリスマス聖劇の取り組み	77		3		0	

↓

↓

・入園式は保護者1名の参加でもう一名は保育室で待機でしたが、集合写真だけは一緒に写りたかったです。

・今年の親子遠足は残念ながら雨で中止になり、子供がとても残念がってました。年長で最後の機会だったので、例えば、年長さんだけ園のホールでレクをするとかそういう機会があれば子供が喜んだのかなぁと思います。また、毎年場所が同じなので動物園など子供たちも楽しみ学べるような場所にしてほしいと思います。

・コロナの関係もあるかとは思いますが、今までのように平日開催だとありがたいです。

・生活発表会や聖劇のYouTube配信について、マイクで音を拾うことはできないのでしょうか？またはステージにマイクを設置して音を大きくするなど？ こどもたちが頑張っている素敵なお姿がみられて良いのですが、音が小さくて残念な部分があると感じました。



ご意見をもとに、可能なものは取り入れていきたいと考えています。コロナの状況も、その時々で変わりますが、ご家庭と共にお子様を育てていきたいと切に願っています。（学年の行事の場合、他学年は「よくわからない」を回答しています。また、親子遠足は雨のため中止でしたが、準備に対するご意見もいただきました。よってパーセンテージは表示しておりません。）

IV 幼稚園と家庭との連携・情報共有について		だいたい良 い	パーセン テージ	よくわから ない	パーセン テージ	改善のアイ デアがある	パーセン テージ
1	家庭訪問・個人懇談	75	95%	5	4%	0	1%
2	園だより	79	94%	0	5%	1	1%
3	保育だより	79	95%	1	5%	0	0%
4	クラスだより	79	95%	0	5%	1	0%
5	ホームページ	62	74%	13	25%	5	1%
6	緊急メール	73	93%	4	6%	3	1%
7	ラインでの連絡	67	80%	10	20%	3	0%

↓

↓

・ホームページを更新してほしい。

・ホームページが少しわかりにくい気がします。園だよりが更新されているようですが、そのページに辿り着けません…私のスマホが悪いのかもしれませんが…

・LINEも活用するようになったならば、緊急メールで送って頂く内容は、より緊急性が高い物に限って貰えると、より良いかなと思います。難しい所ではあると思うのですが、送る内容の線引きがよりはっきりしていると有難いかな、と感じています。

お便りをあちこち見に行くのが大変なので必要なモノ等ある時は1つのお便りで把握出来ると助かります。

・スケジュールなど最新情報をホームページやメールでできれば早めに教えていただけると助かります。

・緊急メールの宛先を複数設定させてほしいです。"LINEで連絡事項を回せるようになったのは、個人的にはとても便利になって有り難く感じています。



緊急メール、ライン、ホームページ、YouTube等、保護者の皆様との連絡のツールが増え、お知らせがしやすくなっています。

しかし、今年の反省として、ホームページに関しては、アルバムの発信は例年程度行えましたが、ブログの発信が少なかったことがあげられます。一方、クラス便りの内容は、クラスの活動の様子が詳しくわかる内容に変更されていました。

次年度に向けて、ホームページを刷新するべく準備を進めています。

V その他さまざまな活動について		だいたい良い	パーセンテージ	よくわからない	パーセンテージ	改善のアイデアがある	パーセンテージ
1	トドックの給食	55	78%	24	17%	1	5%
2	預かり保育	53	75%	25	21%	2	4%
3	お買い物ごっこについて	75		5		0	



・どんな給食を食べているか、実物をまだ見たことがないので、見る機会があればありがたいと思いました。
 ・その日何をしたかなど、子どもの様子を教えてほしい。
 ・忙しいとは思いますが…担任など預かりに交代で1人とかついでくれると子供たちもとても喜ぶとおもいます。長期休みなど特に、今日はこの先生が居たよなどあるといいと思いました。
 ・メニューにフルーツを使ったソースの肉料理や大人が好きそうな煮物など、子供には少し抵抗がある物が多い気がします。
 栄養面を考えて頂けてるのはとても助かるのですが、もう少し子供が喜ぶメニューを増やして頂けるといいと思います。



昨年度も今年度も、給食試食会が開けなかったことが残念です。来年度からは、自園給食による完全給食になりますので、どこかで給食試食会ができれば、と考えています。今後は栄養士さんを交えて、食育を考えて行きます。
 預かり保育に関しては、長期休みで担任の先生が交代で入っています。

その他のご意見

- ・いつもきめ細やかな対応をしてくださり本当に感謝しています。
- ・娘は毎日楽しく幼稚園に通ってくれています。お預かりのお世話にもなっていますが、お預かりでは通常保育ではできないことも体験させてくれたり、限られた時間で工夫をして保育をしてくださっているのが伝わってきます。また、お迎えに行くときのお話もお話ししてくれたりするので安心して預かりを利用することが出来ています。
- ・参観日などの時に園に入ったら手洗いをする様にとの指示がありますが、アルコール消毒が良いのではないのでしょうか。
- ・いつも息子を教育、保育して下さりありがとうございます。いつも先生方にお世話になることが多く、大変申し訳なく思っております。息子はいつも幼稚園を楽しみに通っており、お友達と遊ぶのもとても楽しいようです。これもひとえに先生方が温かく見守ってくださっているおかげだと思います。本当にありがとうございます。これから新園舎ができ、保育の幅が広がることでますます大変かと思いますが、これからもよろしくお願いたします。
- ・以前よりも先生方から子どもの様子を伺う機会が減ってしまったことが残念です。なかなか難しいかと思いますが、姉妹間でも平等に接してほしいと願っています。
- ・コロナ禍ではありましたが、様々な行事が行っていただいたこと、とても感謝しております。またサークル活動においても、担当の先生にたくさん協力いただきました。ありがとうございました。
- ・コロナ等で大変な中色々なアイデアで保育していただき先生たちには感謝です。幼稚園での様子を見る機会が減ってしまいとても残念です。ゴスペルサークルも子供達の前で歌のプレゼントすることが出来ないで子供達の反応など動画で見ることが出来たら嬉しいです。
- ・最近、園庭が泥々でいつも靴やズボンが泥だらけになって帰ってきて、洗濯する事を考えると「これは、また大変だ…。」と思ってしまうのも正直な所ですが、自分は今の時期、あんなに泥んこになってまで外遊びに付き合ってもらえないと思うので、先生も泥んこになるだろうに、あんな中でも外遊びをさせてくださり、とても嬉しく感じています。ありがとうございます！
- ・コロナ禍の中、マスクもろくにしてくれない子ども達を相手に、いつも近くで見守り保育にあたってくださり、本当にありがとうございます！まだまだコロナとの闘いは終わっていませんが、これまでも色々対策を練ることは、本当に骨が折れる事だったと思います。子ども達の為に色々対策を考えてくださり、ありがとうございます！先生方も、これからもくれぐれも気をつけてお過ごしください。
- ・いつも大変お世話になっております。親子共々、幼稚園生活楽しんでおります。
- ・コロナ以前は、家庭訪問の期間は、お家で子供の様子などをお話しをしていたみたいですが、コロナ終息後も家庭訪問を行わないで、幼稚園で懇談して頂けると幸いです。懇談中も職員のかたが子供を見ていただけるのが、とても助かりますし、(年齢が上がると自分のはなしをしているとわかってくるので、待ち合い室で待機してもらおうほうが懇談しやすいかと思います。)担任の先生とふたりでじっくりお話しすることができるので、先生と子供と両親で、よい時間を過ごすことができるのではないかと思います。よろしくお願致します。
- ・近隣の園で導入しているような体操の先生による指導があると、良いと思います。
- ・運動会の様子もYouTube配信があると、保護者も子どもの成長する姿がわかるのかな?とも思いました。(来年はこんなことができる等。)
- ・コロナ禍で通常保育ができるよう配慮して下さいありがとうございました。周りの話を聞いていると、給食の際の仕切りやバスの前の手指消毒、マスク着用の徹底など、ミカエル幼稚園が1番コロナ対策を徹底しており、安心して通わせることができました。
- ・いつもお世話になっております。幼稚園に預けてからお友達のことを楽しそうに話す姿を見て、楽しそうに過ごしている様子が伺えます。ありがとうございます。コロナ禍で色々制限がある中、行事等を計画して下さり親子共々楽しみにしています。先生方が感染症対策を徹底して下さっているおかげで、安心して登園させています。
- ・今年もコロナで子供がどんな様子で過ごしているか見ることがあまりできなかったのが残念でした。園での様子がまったくわからないので、この学校評価アンケートもよくわからないになってしまいます。バザーも親子遠足も中止で、あっという間に次は年長さんで幼稚園生活終わってしまうので、なんとかもう少し子供とかわれる行事をしてほしいです。
- ・先生方が穏やかに、愛情をもって子どもと関わってくださるところは幼稚園の一番の魅力だと感じています。
- ・お歌を歌う機会が多いことが楽しいと言っていました。可能であれば、面白そう！と大人でも行きたくなるような、やってみたくなるようなダイナミックな遊びやお出かけをして欲しいです。
- ・いつもお世話になっています。うちの子どもたちはミカエル幼稚園が大好きみたいで、先生方のこととても信頼しているようです！子どもたちに新しい発見や経験をさせてくれて、幼稚園や先生方にとっても感謝しています！！

全体を通して

今年も、保護者参加型行事がほとんど行えず、大変残念に思っております。幼児期、こどもを取り巻く大人が、みんな仲良く力を合わせている姿を間近で見る経験は、子どもたちにとってとても大切だと考えます。

そのためには、ミカエル幼稚園にとって、父母の会はとても重要な意味があります。まだまだ、コロナとの戦いは続きますが、感染が下火になっている時期を狙って、親子、父母同士、様々な活動を提案していきたいと思っております。

聖ミカエル幼稚園 関係者 評価表

評価年月日 2022年 1月31日 評価者 お名前 (植木克美)

評価項目	評価 (本園の行った自己評価の内容についてご意見、感想を自由にご記述ください。)
園長の自己評価について	<p>コロナ禍にあつて、お子様の健やかな成長発達にとって必要な保育活動を園長先生が中心になり、教職員の皆様がお力を出し合つて進めてきたことを理解できる自己評価となっています。特に、お子様たちが多様な経験のできる行事を大切にしていきたいとの考えから、制限がかかる中で保護者の皆様の協力を得ながら行事を実施できたことは特筆すべきことだと考えます。そして、質の高い保育活動を行えるように、教職員の皆様が互いに学び支え合うことができるようにと、園長として取り組まれています。安全管理面での課題には、特に意識を高め取り組んだことを理解できますし、情報の公開に際しても保護者の皆様に同意をとっているところは今後もぜひ継続していただきたいと考えます。次年度に乳児部ができることについても、準備がととのつてきていることがわかります。</p>
教職員の自己評価について	<p>教職員の皆様の自己評価からは前向きに保育活動に取り組み、誠実に保護者の皆様へ対応し、地域社会とかわつていらつしゃることを理解できます。I保育の計画性にある「異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている」は教職員全員が「おおむね良い」との評価をつけており、この点がミカエル幼稚園さんの保育活動の特長として自信をもっているところだと考えます。少子化の時代にあり、異年齢の幼児が交流できる環境を提供できる保育は、幼児の主体性、自発性を大切にしたい、健全な成長発達にとってなくてはならない観点です。守秘義務の遵守に対する自己評価も高く、保護者が安心してお子様を通わせることができるものになっていると考えます。コロナ禍にあり、小学校との連携や子育ての支援や地域開放に難しさがあったことと思いますが、教職員の皆様の意識は高く、今後の取組が期待されます。</p>
保護者のアンケート結果について	<p>アンケートの結果から、ミカエル幼稚園の保護者の皆さまがお子様へ深い愛情をもち、その成長発達を気にかけていること、だからこそ保育活動へ高い関心を示されるのだと理解できます。帰宅してお子様の口から出ることばに注目していること、そしてホームページや園だよりを熱心に閲覧しようとされていること等から、園での様子を知りたいとの保護者のお気持ちを推察できます。書かれている自由記述を見ますと、保護者の皆様が忌憚なく、率直にご意見を述べるができるような関係を、ミカエル幼稚園では保護者の皆様と築かれているのだとわかります。そして、保護者のご意見について、真摯にお応えし、改善をお約束している点、さらには保護者の皆様の理解を得られるように丁寧な説明を園として記載されている点が素晴らしいと言えますし、これを読まれる保護者は今までにも増して園への信頼を深めることになるのだと考えます。</p>
全体を通して	<p>昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、日常の保育活動、そして行事に進めることには、大変なご苦労があったことと思います。次年度には、乳児さんを迎え、さらに異年齢が自然に交流できるような環境構成に取り組まれることと思います。お子様の笑顔があふれる保育活動を展開されていくことを期待しています。</p> <p style="text-align: right;">評価 (A)</p>

聖ミカエル幼稚園 関係者 評価表

評価年月日 2022年 1月 27日 評価者 お名前 (三島徳三)

評価項目	評価 (本園の行った自己評価の内容についてご意見、感想を自由にご記述ください。)
園長の自己評価について	妥当と判断します。
教職員の自己評価について	おおむね肯定的に評価していますが、各種の研修については満足していないようです。コロナ禍で研修の機会自体が減っているという事情もありますが、教職員自身が直接かかわる保育にくらべて、地域社会や小学校などについては関心が低くなるのは、ある意味仕方ないことです。
保護者のアンケート結果について	おおむね肯定的評価を得ているようです。個人的な意見はあくまで参考です。保護者はどうしても自分や子供にかかわることに注意が向きがちですが、それは仕方のないことです。
全体を通して 2年にわたるコロナ禍の中で、幼児の保育を行うことはたいへんな努力があったものと思います。幸い、これまでクラスターの発生をみることなく、一時的な休園に留まっているようなので安堵しています。しかしオミクロン株はエアロゾル感染が主流なので、クラスターも覚悟しておいた方がよいように思います。「感染対策の徹底」といっても、建物の構造上、むりがあります(換気、ドアの取っ手など)。幼児にマスクせよと言っても、鼻出しやアゴマスクになるのは、身体発達上も仕方がありません。換気して深呼吸の時間を設けるのも良いかも知れません。しかし最大の対策は、教職員各自が、感染しないように日常的に自己防衛することです。春が早く来ることをお祈りするだけです。 <p style="text-align: right;">評価 (A)</p>	

聖ミカエル幼稚園 関係者 評価表

評価年月日 2022年1月21日 評価者 お名前 (山崎恒子)

評価項目	評価 (本園の行った自己評価の内容についてご意見、感想を自由にご記述ください。)
園長の自己評価について	<p>この一年もまたコロナウイルスに翻弄され、神経をすり減らされたのではないかとお察しします。</p> <p>制限されることが多かった中でも、滞っているばかりではなく、できる範囲のうちで計画、実行しながら園児、教職員の皆を守ってこられたことはたいへんなことだったと思います。</p> <p>パート職員も増え、勤務時間の違いから周知、連絡もなかなか困難を感じられますが、良い方法が見出せますように。</p> <p>大変お疲れ様でした。</p>
教職員の自己評価について	<p>やはりコロナ禍の一年で、集団であり密であることが当然である子ども達の日々の生活、困難なことも多々あったことと思います。</p> <p>そんな中でも保育、行事等、できる範囲で教職員がベストを尽くしていたように思えます。</p> <p>さらに心を一つにし、新しい年度に向かって行って欲しいものです。</p>
保護者のアンケート結果について	<p>「先生方が穏やかに愛情をもって子どもに関わってくれるところが、一番の魅力」・・・という保護者の声にこの幼稚園の良さが表れ、評価されているのがわかります。</p> <p>バス添乗員の件、施設の件が挙げられていますが信頼は小さなことから日々の積み重ねです。大きな問題、事故につながることもあるので確認し合うことでしょうね。</p>
<p>全体を通して</p> <p>本当にこの困難な一年、園長先生はもちろん、関わる教職員すべてが気の抜けない中での保育であったことと思います。心からお疲れ様と。</p> <p>新年度からの認定こども園スタート、大きく変わろうとしていますどうぞ健康で力を尽くされますように。</p> <p style="text-align: right;">評価 A</p>	